

厚生労働行政推進調査事業費補助金(食品の安全確保推進研究事業)
(分担)研究報告書

情報弱者等に対する情報提供方法の検討

分担研究者	千葉 剛	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部
研究協力者	佐藤 陽子	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部
	鈴木 祥菜	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部
	小林 悦子	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部
	坂本 礼	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部
	西島 千陽	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	食品保健機能研究部

研究要旨

食品の機能性に関連した不確かな情報が氾濫し、健康被害も散見されていることから、国民に対する正確な情報提供が求められている。国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所では科学的根拠に基づき、安全性に重点を置いた信頼できる情報をウェブサイト「健康食品」の安全性・有効性情報 (HFNet) を介して提供して来たが、インターネット利用環境下でない情報弱者等に対して、如何に正しく効果的に情報提供するかが課題となっている。また、インターネットを頻繁に利用している対象者であっても、科学的根拠に基づかない膨大な情報にさらされているために、正しい情報を受け取りにくい者の存在が想定される。そこで、前年度はインターネットを介さない情報伝達方法としてリーフレットを作成した。今年度は、作成したリーフレットを、実際のターゲット層である幼児の母親に配布し、そのユーザビリティ調査を行った。

2017年11月に埼玉県内の幼稚園に通う幼児の母親200名を対象に無記名自記式のアンケート調査を実施した。調査用紙は前年度に作成したコミック版リーフレットと共に配布し、その体裁および内容について尋ねた。

その結果、136名から回答が得られた(回収率68.0%)。リーフレットの評価は概ね良好であり、リーフレット内のポイント(伝えたい内容)も、対象者である母親に伝わったことが確認できた。

幼児の母親向けの情報提供には、コミック版リーフレットを活用することが有効であり、園児を介した配布方法を採用することにより、多くの母親の目に留まることが示唆された。今後、インターネットによる情報提供とインターネットを介さない方法の相互リンクを図ることでより広く適切な情報を伝達することが可能となると考えられる。

A. 目的

近年のインターネット等の情報伝達技術

の進歩により、食品の機能性に関して、有効性のみを強調した情報、科学的根拠に基づかない情報が発信される機会が増加している。また、2015年4月1日からの機能性表示食品制度の開始に伴い、数多くの製品が機能性を表示して販売されるようになった。一方、健康食品とよばれる製品の不適切な利用や無承認無許可医薬品が関連した健康被害も散見されており、健康食品が関連した安全性の確保のためには、国民に対して正確な情報の提供が重要になっている。

国民に対して、科学的根拠に基づき安全性に重点を置いた公正・中立な情報を提供するため、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所では、ウェブサイト「健康食品」の安全性・有効性情報 (<https://hfnet.nih.go.jp/>) (以下HFNet)を構築し、継続的な情報提供を行って来た。しかしながら、インターネット環境が整備されていない環境に置かれている情報弱者、あるいはインターネットを良く利用しているが不確かで膨大な情報にさらされている者に対して、正しい情報を提供することが課題となってきた。そこで、前年度はインターネットを介さない情報伝達方法としてリーフレットを作成した。今年度は、作成したリーフレットを、実際のターゲット層である幼児の母親に配布し、そのユーザビリティ調査を行った。

B. 研究方法

2017年11月に、協力の得られた埼玉県所沢市内の幼稚園(1園)にて、園児の保護者200名へ、子どものサプリメント利用に関するリーフレットを配布し、その感想を調査した。リーフレットは前年度に作成した3種類のリーフレットのうち、最も評判の良かったコミック版を用い、園児のおた

より帳に挟んで配布し、登園時に回収した(図1)。調査内容は、属性(年齢、性別)全体の印象、表紙の感想、見開きページの感想、裏面の感想、リーフレット内の記載内容に対する認識の変化、改善点とした(図2)。

C. 研究結果

リーフレットおよび調査用紙を200名に配布し、136名より回答を得た(回収率68.0%)。回答者は30~40歳代の女性が大部分を占めた(表1、2)。

リーフレット全体の印象はおおむね好評であったが、「情報量が少ない」と評価した人が約半数見られた(図3)。表紙の配色、文字の大きさも適切であり、「中を読んでみたい」と回答した人が約8割であった(図4)。見開きのコミック部分、裏面の解説部分についても評価は好評であった(図5、6)。解説部分については、「情報量が適切」との回答が約7割であった(図5)。

解説部分で示した5つのポイントのうち、「情報は誰が出しているか確認が必要」、「本当の栄養不足か、考えてみるべき」、「サプリメントの利用にはデメリットもある」、「サプリメントの品質はバラバラ」の4つについては、リーフレットを「見た後にそう思った」人が約2割であった。「通常の食品の方が安全」については、「見た後もそう思わない」人が約1割いた(図7)。

改善点やその他意見の自由記述では、より詳細な情報を求める意見や、はっきりと言い切る形での情報提供が求められていることが示された。また、コミック部のコマ割りの順番についての意見が見受けられた(表3)。

D. 考察

健康食品に関する正しい情報を広く国民

に提供するため、これまで主に HFNet を介した情報提供を行って来たが、インターネット利用環境が整備されていない状況にある国民に対しても情報を行き渡らせる必要がある。また、インターネットを良く閲覧している者であっても、事業者から提供されている膨大な情報にさらされているため、正しい情報に辿りつけない者がいると想定された。そこで、前年度に幼児の保護者をターゲットとしたリーフレットを作成した。今年度は、作成したリーフレットを実際にターゲット層である幼児の母親に配布し、そのユーザビリティ調査を実施した。

本研究では、リーフレットおよび調査用紙を園児に持ち帰らせ、保護者に自宅で記入してもらい、園児の登園時に回収する方法をとったが、回答者は30~40歳代の女性が大部分を占めたことから、回答内容は幼児の母親の意見と考えて問題ないといえる。

リーフレットの配色やイラストは好評であり、表紙を見た段階で、多くの母親が「中を読んでみたい」と回答し、興味を持って手に取ってもらえるものとなったといえる。情報量に関しては、もう少し多い方がよいとする意見がある一方、もっと少なく絞った方がよいとの意見もあり、見る人によって感じ方が異なることが示された。コミック部分のコマ割りの順番について、リーフレットの開き方との関係で逆にした方がよいとの意見が散見されたが、「開く方向がよい」かどうかの設問には、「そう思う」と回答した人の方が多かったため、開き方は既存のまま、コマ割りを逆にする対応を検討した方がよいと考えられた。

リーフレットにより伝えたいポイント5項目について、4項目は「見た後にそう思った」人が2割以上おり、「見る前からそう思っていた」と合わせて9割以上となり、リ

ーフレットにより、サプリメントに対する意識を変えることができた。「通常の食品の方が安全」の1項目についてのみ、「見た後にそう思った」人が他の4項目よりも少なく、見た後もそう思わない」人が約1割いた。幼児の食の安全性に関しては、アレルギーや食中毒など想定される範囲が広く、一概に通常の食品が安全とはいえないことが一因と考えられる。

自由記述回答において、「伝えたいことが分からない」という記述が散見された。本研究において作成したリーフレットは、サプリメントの基本事項についての正しい理解を促すものであり、「与えるべき」または「与えてはならない」などの明確な結論は示していない。多くの消費者は「よい」「悪い」のいずれかはっきりとした回答を示されることを望んでいることから、その点が、「分かりにくい」「結局、どちらか分からない」という意見の原因となったと考えられる。しかし、サプリメントは食品であり、その利用の判断はあくまでも消費者一人ひとりにゆだねられている。また、誰が、何を、どのように利用するかによって有益にも害にもなり得ることから、消費者自身による判断が非常に重要となる。したがって、「よい」「悪い」の回答を求めるのではなく、自身で判断できるようになることが重要であるという点をより強調して情報提供を行っていく必要があることが示唆された。

本研究では、情報の伝達方法として、リーフレットを幼稚園を介して配布する方法を採った。同時に配布した調査用紙の回収率が約7割と高かったことから、多くの親に見てもらえたことが伺える。したがって、幼児の母親に向けた情報伝達方法としては、保育所や幼稚園より園児を介して配布する方法が効果的だと考えられる。一方、園を介

した提供方法のみでは提供できる範囲に限界があるため、作成したリーフレットは HFNet にて PDF として公開し、無料で自由に利用できるようにした。今後、リーフレットに QR コードを付けるなどの対策をし、インターネット環境とインターネットを介さない方法の相互リンクを図ること、インターネットを介さない新たな情報伝達経路を模索することなどにより、より広く正確な情報提供を推し進めていくことが課題である。

E. 結論

ハイリスクグループへの情報提供手法の検討の一環として、前年度に作成した幼児の母親を対象としたリーフレットについて、ターゲットとなる幼児の母親を対象にユーザビリティ調査を実施した。

リーフレットの評価は概ね良好であり、リーフレット内のポイント(伝えたい内容)も、対象者である母親に伝わったことが確認できた。

幼児の母親向けの情報提供には、コミック版リーフレットを活用し、保育所や幼稚園を介して配布する方法が有効であり、今後、インターネットによる情報提供とインターネットを介さない方法の相互リンクを図ることにより広く適切な情報を伝達することが可能となると考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

作成したリーフレット類は HFNet (<https://hfnet.nih.go.jp/>) にて公開し、自由にダウンロードして利用できるようにした。

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

リーフレット「幼児にサプリメントは必要ですか？」に関するご意見をください。

国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部

お配りしたリーフレットについてのご意見をお聞かせください。

Q1 あなたの年齢と性別は？ ()歳 男・女(どちらかに○)

Q2 全体の印象 (一番当てはまると思うものに○をつけてください)

全体の印象がよい そう思う そう思わない
 情報量が少ない そう思う そう思わない
 イラストが好み そう思う そう思わない
 つまらない そう思う そう思わない

Q3 表紙の感想 (一番当てはまると思うものに○をつけてください)

配色がよい そう思う そう思わない
 中身を読んでもみようと思える そう思う そう思わない
 文字の大きさは丁度よい そう思う 大きすぎる 小さすぎる
 開く方向は逆がいい そう思う そう思わない



Q4 見開きページの感想 (一番当てはまると思うものに○をつけてください)

配色がよい そう思う そう思わない
 内容がわかりやすい そう思う そう思わない
 文字の大きさは丁度よい そう思う 大きすぎる 小さすぎる
 つまらない そう思う そう思わない



Q4 裏面の感想 (一番当てはまると思うものに○をつけてください)

配色がよい そう思う そう思わない
 内容がわかりやすい そう思う そう思わない
 文字の大きさは、ちょうどよい そう思う 大きすぎる 小さすぎる
 情報の量は、ちょうどよい そう思う 多すぎる 少なすぎる



Q5 リーフレット中に記載されている以下の①から⑤の認識は、リーフレットを見る前後で変わりましたか？
 (当てはまる箇所○をつけてください)

	見る前から そう思っていた	見た後に そう思った	見た後も そう思わない
①情報は誰が出しているか確認が必要	1	2	3
②本当に栄養不足か、考えてみるべき	1	2	3
③通常の食品の方が安全	1	2	3
④サプリメントの利用にはデメリットもある	1	2	3
⑤サプリメントの品質はバラバラ	1	2	3

Q4 リーフレットの改善点などがあれば教えてください。

[]

以上です。ありがとうございました。

図 2. 調査用紙

表 1. 回答者の年齢層

	人数 (%)
20 歳代	1 (0.7)
30 歳代	87 (64.0)
40 歳代	37 (27.2)
50 歳代	2 (1.5)
不明	9 (6.6)
合計	136 (100)

表 2. 回答者の性別

	人数 (%)
男性	7 (5.2)
女性	128 (94.1)
不明	1 (0.7)
合計	136 (100)

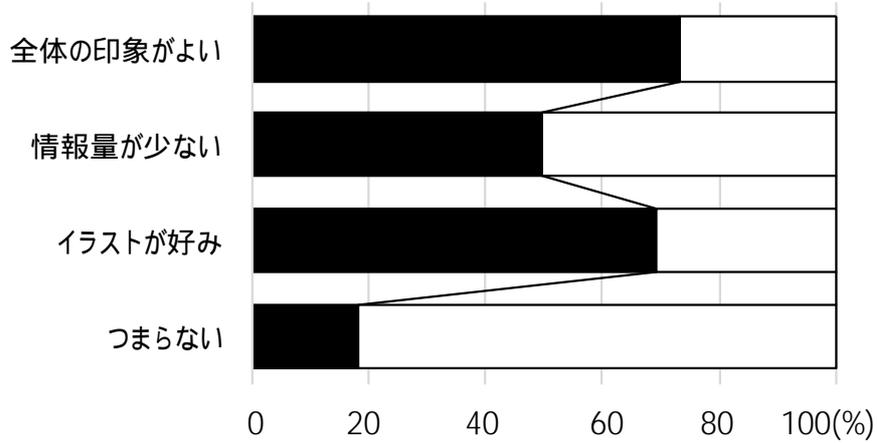


図 3. 全体の印象

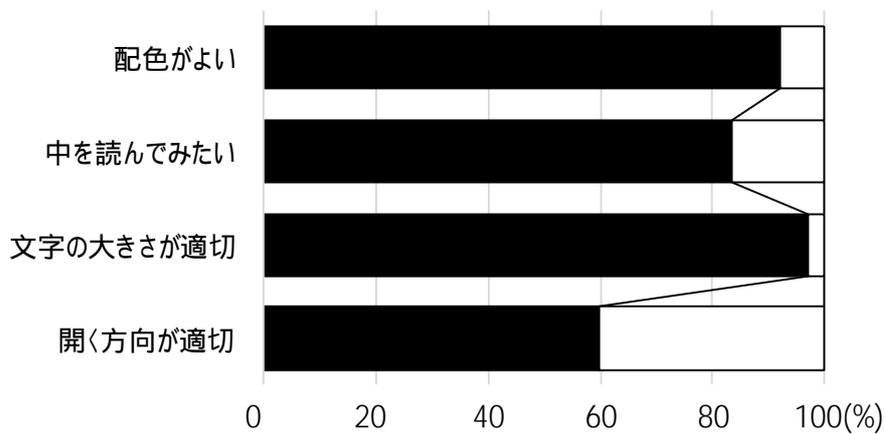


図 4. 表紙の感想

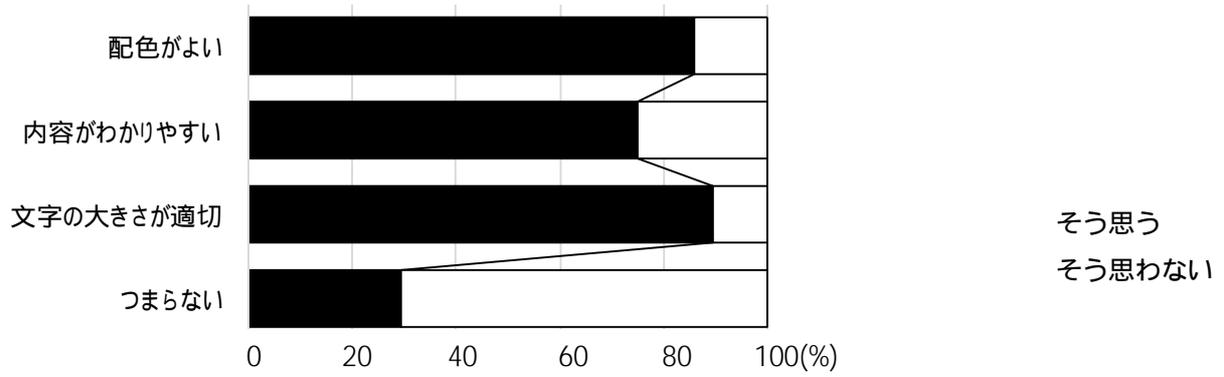


図5. 見開きページ感想

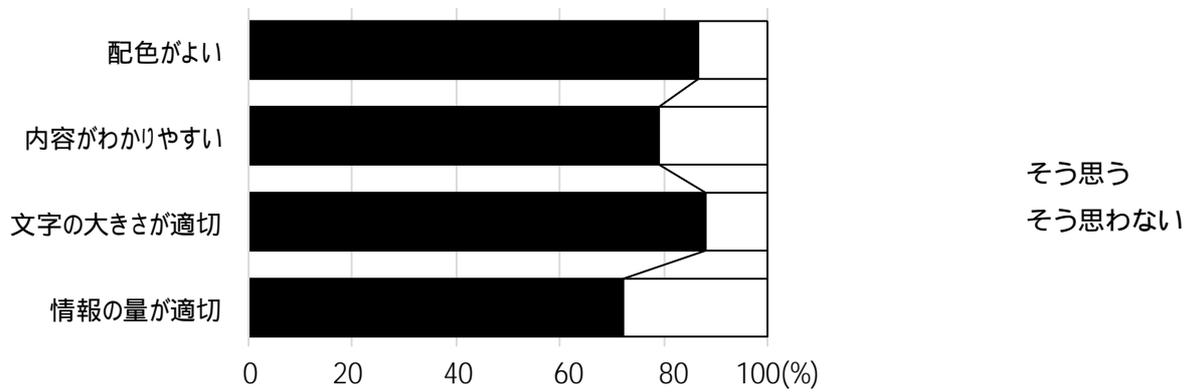


図6. 裏面の感想

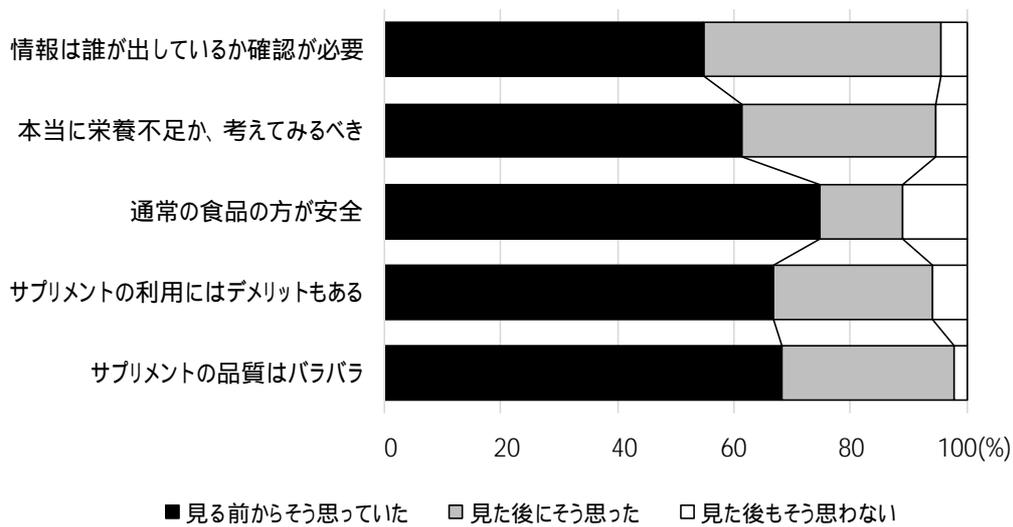


図7. 認識の変化

表3. 改善点、感想（自由記述）

	意見
内容について	<p>子どもと一緒に食事をしている時に、スマホで調べているのはよくない気がします。「まだ調べてるの？」の言葉が、ずっと見ている印象を受けます。</p> <p>食事中に携帯電話をいじる母親の絵に違和感を覚えました。</p> <p>「幼児にサプリ=悪いこと」という一方的な意見のおしつけに見える。きちんとメリットも提示すべき。</p> <p>少し意見が偏りすぎているかとも思いました。世間的に妊婦にはサプリメントをすすめている印象があるので・・・</p> <p>マンガは不要。又は1頁で充分だと思う。一番言いたい情報を大きく中に書くべきでは。</p> <p>専門家に相談とあるが、連絡先がわからない。</p> <p>マンガ読みやすいのですが、もう少しページ数をおさえて（3面を2面くらいにおさえられるのでは??）、内容量を増やし、危険性のグラフ等（あれば、サプリの種類例や年々増えているなど）、注意喚起がわかりやすいほうがよいかと！</p> <p>見やすく、とても興味のある内容でしたが、3ページ目の「いつも通りいろんな食材をバランスよく食べていれば・・・」ができていない親子が悩む問題なのでは、と思います。最後もう少しだけ掘り下げても良いと思いました。</p> <p>とても良いリーフレットだと思います。</p> <p>リーフレットの見開きのマンガの所は、もう少し主人公のお母さんが情報源やネットで書かれているメリットばかりの内容を書いてあれば、良いことばかりかいてあるというのが、分かりやすいかなと思った。</p> <p>裏面の説明はわかりやすいが、見開きページのマンガが何を伝えたいかイマイチわかりずらかった。</p>
	<p>結局これは何のためのリーフレットなのかよくわからない。サプリはとらない事をすすめるものなのか。理由があってサプリを飲んでいる子もいると思うけど、そこはどうなんだろうといろいろ疑問をもつリーフレットでした。</p> <p>メリットとデメリットが明確に記載されておらず、これを読んでも結局解決されない問題（幼児にサプリが必要かどうかということ。）のままになっているように思います。もう少しほり下げてくれれば読みたい。</p> <p>結論としてどちらをすすめているのかわかりにくい。「サプリメントを安易に使うのはやめましょう」なのか、「情報をうのみにしてしまわず自分でたしかめよう」なのか。主に伝えたいことがなんなのかぼやけてしまっている。</p> <p>何が言いたいのか分かりにくい。サプリメントを摂取させないようにしたいのですか？それとも、摂取する前に1~5の確認をしましょうとしたいのでしょうか？自己判断はよくない??又、幼児にサプリメント~?の題の見開きは内容が合っていますが、裏面の1~5が文章も多く、読みにくいです。</p> <p>何を一番伝えたいのかが、あまりはっきりと分かりませんでした。このページ（裏面右側）は文字が多すぎて見にくいと思います。内容はとても大事なことだと思うので、拝見してよかったです。</p> <p>結局、何が言いたいのか分かりません。何が言いたいのか伝わらない</p> <p>リーフレットで1番伝えたいことがよくわからない。</p>

表3. (つづき)

意見

体裁について

裏面の左側(数字の書いてある所)に、なぜか右側に書かれている答えの要約が記されている。左側はQuestionのみにした方が見やすいと思います。

中おりは、おもしろいと思いますが、1~5にヤジルシがある所手前でおられているので、ヤジルシに気が付きませんでした。せっかくだいい事を話しているので、ヤジルシがわかるようにしたらいいと思います。

中のマンガ、どちらがはじまりで終りか、よくわからない。

表紙から開いて、一番最初に内身が見えるところから、マンガをスタートさせた方が、わかりやすい。

表紙を見てから見開きのページを見たら、見開きのページの左側から読みはじめ、「あれ! ?おかしい」と思い、右上から話のはじまりなんだと気づきました。私だけかもしれませんが・・・。見開きページの話のはじまりを左側からにするか、表紙の開く方向を逆にするかしたら読みやすいのかなと思いました。

イラストの向きが(見開きページ)逆の方がよいと思いました。

開く方向と中のはじまりが逆だから読みにくかった。

マンガ部分は、逆から読んでしまい、はじめはよく理解できなかったもので、表紙のうしろからマンガをはじめた方が良いと思いました。

表紙が横書きなので、開く方向は逆がいいと思います。裏面をよく読まないで、内容が分かりづらかったです。

見開きのページのマンガは、大きさを小さくして、裏面にある説明をより詳しく記載するとわかりやすいと思います。

マンガが大きすぎる。